

平成29年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
34203	情報資源組織演習(目録) Organization of Library/ Information Resources : Cataloging	江良 友子	専門	1	選択	1・2年 後期

**科目の概要**

「情報資源組織論」で学んだ資料組織の基礎理論に基づき、演習科目として「日本目録規則」を理解する。目録を作成することは、図書館司書の専門的な仕事である。数多くの練習問題を解くことで、多様な情報源からのデータ採取、目録規則の適用と目録書誌データの記述方法を身に着ける。

学修内容	到達目標
① 日本目録規則について理解する ② 図書の日録記述について理解する ③ 目録記述演習を実施する ④ 見出し項目の選出と編成を実施する ⑤ ワカチガキについて理解する	① 日本目録規則の概略を説明することができる ② 日本目録規則に基づいて図書の目録記述ができる ③ 選び出した見出し項目をヨミの音順に従って編成できる ④ 見出し項目の選出と編成方法を学び、記述することができる ⑤ ワカチガキで片仮名表記ができる

**学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素**      **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	自主的に図書館や書店に足を運び、様々な本について知ることができる。
	働きかけ力	
	実行力	図書館等で自ら問題集を探し、積極的に問題を解くことができる。
考え抜く力	課題発見力	どうすれば正確な目録作成ができるか考え、課題に取り組むことができる。
	計画力	
	創造力	授業で記述した資料以外、例えば自分の所有する本や新刊図書の目録作成に取り組むことができる。
チームで働く力	発信力	自分が記述した目録を授業の中で発表できる。
	傾聴力	目録作成に躓いている他学生に声をかけ、アドバイスすることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	学生としてではなく、社会人として通用する言葉遣いと行動(授業中におしゃべりしない、遅刻しない、忘れ物をしない、提出物を期限内に提出する、授業中に携帯を触らない等)ができる。
	ストレスコントロール力	テストが多いため、緩急をつけながら学ぶことで自分の気持ちを調整できる。

**テキスト及び参考文献**

テキスト:『図書館資料の目録と分類』 増訂第5版 日本図書館研究会 2015年 1,188円  
講義用レジュメおよび必要に応じて追加資料を配付する。  
参考資料:『情報資料組織法』 志保田務 著 第一法規 2012年 2,808円

**他科目との関連、資格との関連**

他科目との関連: 図書館に関する科目全て 特に、情報資源組織論と情報資源組織研修(分類)  
資格との関連: 図書館司書

学修上の助言	受講生とのルール
前期開講の「情報資源組織論」の授業を受講していないと理解することが難しい授業内容であるため、情報資源組織論未履修者は事前に相談に来ること。 授業内でテストをすることが多いので、復習に時間をかけて計画的に学習すること。 テスト日に欠席しない(授業内テストで9割評価するため、当日欠席すると単位の取得が難しくなる)。	遅刻・欠席は、3回で1回の欠席となる。 6回以上の欠席は0(放棄)判定となる。 欠席した場合は、次回授業日前までに、欠席分の配布資料を取りに来ること。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト	90	①	✓	授業で4回のテスト(評価:20点×3回、30点×1回)を行い、その結果で評価する。毎回行う小テストは評価の参考とする。 ポイント①目録と書誌の違いがわかる ②目録と書誌それぞれの種類を説明することができる ③日本目録規則とは何か説明することができる ④図書の各部位を説明することができる ⑤単行書の記述ができる ⑥多冊ものの記述ができる ⑦セットものの記述ができる ⑧シリーズものの記述ができる ⑨3層の書誌階層ができる ⑩見出し項目の選出ができる ⑪見出し項目の表記ができる ⑫ワカチガキを使って適切な片仮名表記ができる
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
レポート				
成果発表 (口頭・実技)				
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性)テスト勉強に自主的に取り組むことができる (実行力)テストのやり直しをすることができる (課題発見力)間違いやすい箇所を知り、正確に記述できる (創造力)自分が所有する本や新刊図書の目録作成に取り組むことができる (発信力)自分が記述した目録を授業の中で発表できる (傾聴力)講義を聞き、わからない部分は質問することができる (規律性)毎回の授業内容を理解できるまで復習する ※上記の7項目は、課題発見力を特に重視し、全体を通して総合的に評価する・・・10点
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
その他				
総合評価 割合	100			小テストと学修態度の成績を総合して評価する。

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
S(秀)評価 ・小テストのポイントで示したことが全て理解できており、合計4回行う小テストの総計が81点以上獲得できている ・社会人基礎力の7項目が達成できている A(優)評価 ・小テストのポイントで示したことが全て理解できており、合計4回行う小テストの総計が72点以上獲得できている ・社会人基礎力の7項目のうち、6項目以上が達成できている	B(良)評価 ・小テストのポイントで示したことが概ね理解できており合計4回行うテストの総計が63点以上獲得できている ・社会人基礎力の7項目のうち5項目以上が達成できている C(可)評価 ・小テストのポイントで示したことが6割以上理解できており、合計4回行うテストの総計が54点以上獲得できている ・社会人基礎力の7項目のうち4項目以上が達成できている或は、達成までには至らないがよく努力している

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	オリエンテーション 目録とは何か	講義と質疑応答	授業を集中して聞き、配布資料の空欄を埋め、自分で重要だと感じる事項を記録できる。	(復習)配布した資料を読み返す。 (宿題)目録の種類と書誌の種類について調べる	90	主体性 規律性
2週 /	日本目録規則 記述	宿題発表 講義と質疑応答	宿題として指定された問題を発表できる。 授業を集中して聞き、配布資料の空欄を埋め、自分で重要だと感じる事項を記録できる。	(復習)配布した資料を読み返す。 (宿題)日本目録規則の特徴、図書の各部位を覚える	60	主体性 傾聴力 発信力
3週 /	タイトル・責任表示 標題紙からの記述	小テスト 講義と質疑応答	小テストで日本目録規則の特徴、図書の各部位について6割以上正答できる。 授業を集中して聞き、配布資料の空欄を埋め、自分で重要だと感じる事項を記録できる。	(復習)配布した資料を読み返す。 (宿題)標題紙を情報源としたタイトルと責任表示について復習し記述できるようにする。	60	実行力 課題発見力 創造力
4週 /	タイトル・責任表示 部編名ほか	小テスト 講義と質疑応答	小テストで標題紙を情報源としたタイトルと責任表示の記述が6割以上正答できる。 授業を集中して聞き、配布資料の空欄を埋め、自分で重要だと感じる事項を記録できる。	(復習)配布した資料を読み返す。 (宿題)標題紙を情報源としたタイトルと責任表示について復習し記述できるようにする。	120	実行力 課題発見力 創造力
5週 /	タイトル・責任表示に関するテスト	テスト	・本タイトル、・タイトル関連情報、・並列タイトル、・部編名 ・別タイトル、・責任表示 ・複数作品を収録する場合以上について理解と記述ができること(6割以上正解ならば可とする)。	第1～4回の授業内容を復習するとともに、小テストで間違えたところを見直すこと。	90	実行力 ストレスコントロール力
6週 /	前回テスト答合わせ 標題紙と奥付 版表示、出版	テスト答合わせ 講義と質疑応答	テストで不正解だった箇所について、なぜ間違えたか理解できる。 授業を集中して聞き、配布資料の空欄を埋め、自分で重要だと感じる事項を記録できる。	(復習)配布した資料を読み返す。 返答された答案の見直し。 標題紙と奥付を情報源とした、タイトルと責任表示、版表示、出版者、出版年の記述方法を理解する。	90	実行力 課題発見力 創造力
7週 /	形態、注記、ISBN 頁数、大きさ、注記に含まれる 事項、ISBNとは何か	小テスト 講義と質疑応答	小テストで標題紙と奥付を情報源とした、タイトルと責任表示、版表示、出版者、出版年の記述が6割以上正答できる。 授業を集中して聞き、配布資料の空欄を埋め、自分で重要だと感じる事項を記録できる。	(復習)配布した資料を読み返す。 単行書の目録記述ができるようにする。	60	実行力 課題発見力 創造力
8週 /	単行書の目録記述テスト	テスト	・版と刷、・出版地、・出版者 ・頒布者、・出版年、・頁数 ・大きさ、・注記に含まれる事項、・ISBN 以上について理解したうえで、単行書の目録記述ができること(6割以上正解ならば可とする)。	第1～7回の授業内容を復習するとともに、小テストで間違えたところを見直すこと。	120	実行力 ストレスコントロール力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	前回テスト答合わせ 書誌単位 出版形態 書誌単位	テスト答合わせ 講義と質疑応答	テストで不正解だった箇所について、なぜ間違えたか理解できる。 授業を集中して聞き、配布資料の空欄を埋め、自分で重要だと感じる事項を記録できる。	(復習)配布した資料を読み返す。 返答された答案の見直し。 書誌事項を日本目録規則に従って記述できるようにする。	120	実行力 課題発見力 創造力
10週 /	書誌単位 シリーズもの セットもの	小テスト 講義と質疑応答	小テストで書誌事項記述が6割以上正答できる。 授業を集中して聞き、配布資料の空欄を埋め、自分で重要だと感じる事項を記録できる。	(復習)配布した資料を読み返す。 シリーズものとセットものの書誌事項の記述を復習する。	60	実行力 課題発見力 創造力
11週 /	書誌階層 2層と3層の違い	小テスト 講義と質疑応答	小テストで書誌事項記述が6割以上正答できる。 授業を集中して聞き、配布資料の空欄を埋め、自分で重要だと感じる事項を記録できる。	(復習)配布した資料を読み返す。 3層の書誌階層、シリーズもの、セットもの記述を復習する。	60	実行力 課題発見力 創造力
12週 /	書誌階層 3層の書誌階層	小テスト 講義と質疑応答	小テストで書誌事項記述が6割以上正答できる。 授業を集中して聞き、配布資料の空欄を埋め、自分で重要だと感じる事項を記録できる。	(復習)配布した資料を読み返す。 3層の書誌階層、シリーズもの、セットもの記述を復習する。	120	実行力 課題発見力 創造力
13週 /	書誌単位の記述テスト	テスト	書誌単位、3層の書誌階層について理解し、目録記述ができること(6割以上正解ならば可とする)。	第9～12回の授業内容を復習するとともに、小テストで間違えたところを見直すこと。	120	実行力 ストレスコントロール力
14週 /	前回テスト答合わせ 見出し項目 選出と編成	テスト答合わせ 講義と質疑応答	テストで不正解だった箇所について、なぜ間違えたか理解できる。 授業を集中して聞き、配布資料の空欄を埋め、自分で重要だと感じる事項を記録できる。	(復習)配布した資料を読み返す。 返答された答案の見直し。 ワカチガキが正確にできるように練習する。	120	実行力 課題発見力 創造力
15週 /	総合テスト	テスト	・目録関連用語の説明 ・重要項目解説 ・日本目録規則に従った目録記述 以上の理解(6割以上正解ならば可とする)。	第1～14回の授業内容を復習するとともに、テストと小テストで間違えたところを見直すこと。	60	実行力 ストレスコントロール力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力